

【第一種使用規程承認申請案件に対する意見】ご担当者様

表記の件について下記に意見を述べます。

どうぞよろしくお願い致します。

.....

2012年4月10日

文部科学省研究振興局

ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 御中

食のコミュニケーション円卓会議

代表 市川まりこ

「第一種使用規程承認申請案件に対する意見書」

「複合病害抵抗性イネ(WRKY45遺伝子発現イネ、*Oryza sativa* L. 日本晴; NIA-OS001-8、NIA-OS002-9、NIA-OS003-1、NIA-OS004-2、NIA-OS005-3、NIA-OS006-4)の、隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為」への意見

【意見】

「複合病害抵抗性イネ(WRKY45遺伝子発現イネ、*Oryza sativa* L. 日本晴; NIA-OS001-8、NIA-OS002-9、NIA-OS003-1、NIA-OS004-2、NIA-OS005-3、NIA-OS006-4)」の第一種使用等に関する承認に賛成いたします。

【理由1】

生物多様性影響評価の、(1)競合における優位性、(2)有害物質の産生性、(3)交雑性、の3つの項目について、適切に検証が行われたことが資料より確認できます。

【理由2】

今回の申請は、イネという日本における重要作物でイベント(系統)によらない一括承認がなされようとしています。一括承認は海外では主流となっていますが、今回の案件において、十分に安全性が確認された上で一括承認が為されれば、日本の遺伝子組換え研究に重要な一步を刻むことと思われれます。

【理由3】

今回導入された遺伝子が転写因子で、これまでの日本の第一種使用等で承認された遺伝子組換え農作物に導入された遺伝子と異なり、転写因子を利用した遺伝子組換えイネが承認されることは、利用できる遺伝子の幅が広がり、研究開発の振興に繋がります。またWRKY45はイネ由来の遺伝子であり、それが制御する遺伝子もイネの遺伝子であるため、承認にあたって問題はないと考えます。

【理由4】

本遺伝子組換えイネは、いもち病やそのほかの病害にも強くなっているとのことです。いもち病など病害に強いイネ品種の開発は、研究開発に限らず、生産性と競争力の向上が課題である日本のコメ生産(飼料用含む)の将来にとっても、非常に重要な課題です。このため本案件の承認は、日本の食料保障(自給率向上)や農家の生産性向上と生産性の安定、ひいては消費者の利益にも直結していると考えます。

以上のことから、今回申請された複合病害抵抗性イネの第一種使用等に関する承認によって研究が進むことは消費者の利益にも繋がることと考えられますので、速やかな承認をお願いします。

以上

.....

食のコミュニケーション円卓会議

代表 市川まりこ

Tel&Fax 03-6808-9262

mail: ma-ru12@nifty.com

HP: <http://food-entaku.no.coocan.jp/>(仮URL)